



参天製薬株式会社

2010年度 第2四半期決算説明会

**第2四半期累計業績概要と
通期業績予想**

2010年11月4日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明



2010年度第2四半期 連結累計期間業績

2010年度第2四半期連結累計期間 決算概況

(単位:億円)	2009年度 第2四半期 累計実績	2010年度 第2四半期 累計実績	対前年 同四半期 増減率	2010年度 第2四半期 累計業績予想	対予想 達成率
売上高	591.2	539.1	▲ 8.8%	543.0	99.3%
営業利益	190.3	141.1	▲ 25.9%	138.0	102.3%
経常利益	188.7	144.9	▲ 23.2%	142.0	102.0%
四半期 純利益	116.7	92.7	▲ 20.5%	94.0	98.6%

*業績予想：2010年5月11日付公表

2010年度第2四半期連結累計期間 ハイライト

売上高

- 一時金収入の影響を除く実績は堅調に推移
- 国内：医療用眼科薬は堅調（タプロス・コソプト等）
- 海外：中国は引き続き伸長、欧州は為替の影響により横ばい

営業利益

- 営業利益は、期初業績予想を達成
- 売上原価は、薬価改定、一時金収入減少等の影響で上昇
 - 一時金収入の影響を控除した原価率は、若干低下
- 販管費：経費削減努力・為替変動の影響等で期初予想を下回る
- 研究開発費：積極的な投資は継続、期ズレ要因による計画未消化

S 売上高の増減要因 (対前年同期比較)

2009年度
第2四半期
連結累計期間
実績売上高
591.2億円

▲52.0億円

2010年度
第2四半期
連結累計期間
実績売上高
539.1億円

国内: ▲ 0.6億円

- + 医療用眼科薬 + 1.2億円
- + 抗リウマチ ▲ 0.5億円
- + 一般用医薬品 ▲ 2.7億円
- + 医療機器 + 2.3億円
- + その他 ▲ 1.0億円

海外: ▲ 51.4億円

- + 北米 ▲ 53.7億円
(うち為替 ▲ 0.6億円)
- + 欧州 ▲ 0.1億円
(うち為替 ▲ 5.6億円)
- + アジア + 2.3億円
うち中国 + 2.4億円
(うち為替 ▲ 0.7億円)
うち韓国 + 0.5億円
(うち為替 + 0.1億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 0.7億円
- + 角膜 ▲ 4.2億円
- + 緑内障 +11.8億円
うちタロメ + 13.0億円
うちコプト + 10.0億円
- + アレルギー ▲ 1.8億円
- + その他 ▲ 3.5億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 1.5億円
うち西欧 + 1.7億円
(うちドイツ + 1.3億円)
うち東欧 ▲ 0.6億円
うち北欧 + 0.6億円
うちロシア ▲ 0.1億円

<為替レート>	2010年度 予算	2010年度 2Q累計実績
US\$	90.00円	88.88円
Euro	125.00円	115.85円
元	13.30円	13.40円



売上高の増減要因(対業績予想比較)

2010年度
第2四半期
連結累計期間
予想売上高*
543.0億円

▲3.8億円

2010年度
第2四半期
連結累計期間
実績売上高
539.1億円

国内: + 4.0億円

- + 医療用眼科薬 + 7.6億円
- + 抗リウマチ + 2.7億円
- + 一般用医薬品 ▲ 2.9億円
- + 医療機器 ▲ 1.8億円
- + その他 ▲ 1.4億円

海外: ▲ 7.9億円

- + 北米 ▲ 1.1億円
(うち為替 ▲ 0.2億円)
- + 欧州 ▲ 5.3億円
(うち為替 ▲ 3.1億円)
- + アジア ▲ 1.4億円
うち中国 ▲ 2.0億円
うち韓国 + 0.5億円

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 + 3.9億円
- + 角膜 + 0.3億円
- + 緑内障 + 5.6億円
うちｸﾞﾟｽ ▲ 7.7億円
うちｺｯﾌﾟﾄ + 10.0億円
- アレルギー ▲ 2.5億円
- + その他 + 0.3億円

欧州

- + 医療用眼科薬 ▲ 4.4億円
うち西欧 ▲ 1.3億円
うちﾄｲｯ ▲ 2.1億円
うち東欧 ▲ 2.2億円
うち北欧 + 0.3億円
うちﾗｼﾞｱ ▲ 1.1億円

<為替レート>	2010年度 予算	2010年度 2Q累計実績
US\$	90.00円	88.88円
Euro	125.00円	115.85円
元	13.30円	13.40円

*業績予想: 2010年5月11日付

損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円) 連結損益計算書	2009年度 第2四半期 累計実績	2010年度		
		第2四半期 累計実績	増減	主な増減要因
売上高	591.2	539.1	▲52.0	(詳細は前述)
売上原価 (対売上高比率)	177.6 30.1%	174.3 32.3%	▲3.3 2.3pt	品目構成の変化の影響 薬価改定の影響 技術導出収入の影響
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	223.1 37.7%	223.6 41.5%	0.4 3.8pt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	153.9 26.0%	159.8 29.7%	5.9 3.6pt	国内販売費 1.7億円、海外販売費 1.8億円、 その他(国内一般管理費等) +2.5億円
研究開発費 (対売上高比率)	69.2 11.7%	63.7 11.8%	▲5.4 0.1pt	
営業利益 (対売上高比率)	190.3 32.2%	141.1 26.2%	▲49.2 ▲6.0pt	
営業外収益	4.4	4.8	0.3	
営業外費用	6.0	1.0	▲5.0	
経常利益	188.7	144.9	▲43.8	
特別利益	-	0.0	0.0	
特別損失	2.0	1.1	▲0.9	
税金等調整前四半期純利益	186.6	143.8	▲42.8	
法人税等	69.9	51.1	▲18.8	
四半期純利益	116.7	92.7	▲23.9	

＜為替レート＞

	2009年度 第2四半期実績	2010年度 第2四半期実績
US\$	95.48円	US\$ 88.88円
Euro	132.14円	Euro 115.85円
元	14.00円	元 13.40円



貸借対照表

(単位:億円)	2010年3月末		2010年9月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,188.3	71.2%	1,189.2	71.1%	0.9
固定資産	480.4	28.8%	484.5	28.9%	4.0
繰延資産	-	-	-	-	-
資産合計	1,668.7	100.0%	1,673.7	100.0%	5.0
流動負債	252.8	15.2%	215.8	12.9%	▲36.9
固定負債	39.8	2.4%	40.9	2.4%	1.0
負債合計	292.7	17.5%	256.8	15.3%	▲35.8
純資産合計	1,376.0	82.5%	1,416.9	84.7%	40.9
負債純資産合計	1,668.7	100.0%	1,673.7	100.0%	5.0

【主要変動科目】

- 流動資産：現金及び預金 ▲12億円、受取手形・売掛金+19億円、商品及び製品▲7億円
- 固定資産：建物及び構築物▲6億円、機械装置及び運搬具▲2億円、土地▲2億円、投資有価証券+16億円
- 流動負債：支払手形及び買掛金▲4億円、短期借入金▲2億円、未払金 ▲4億円、未払法人税等 ▲20億円
- 純資産：利益剰余金 +58億円、その他有価証券評価差額金 ▲6億円、為替換算調整勘定 ▲12億円



2010年度 通期連結業績予想

2010年度 連結予想概況

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 業績予想	対前年 増減率
売上高	1,105.9	1,085.0	▲1.9%
営業利益	296.4	263.0	▲11.3%
経常利益	298.6	270.0	▲9.6%
当期純利益	187.2	175.0	▲6.5%
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt

2010年度 下期のポイント

緑内障市場におけるプレゼンス拡大

タプロス・コンプトによる市場浸透

海外：欧州・中国での持続的成長



2010年度 連結業績予想

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度	
		予想	増減
売上高	1,105.9	1,085.0	▲20.9
売上原価	347.1	350.0	2.9
(対売上高比率)	31.4%	32.3 %	0.9 pt
販売費・一般管理費	462.4	472.0	9.6
(対売上高比率)	41.8%	43.5 %	1.7 pt
研究開発費を除く販管費	321.2	331.0	9.8
(対売上高比率)	29.0%	30.5 %	1.5 pt
研究開発費	141.2	141.0	▲0.2
(対売上高比率)	12.8%	13.0 %	0.2 pt
営業利益	296.4	263.0	▲33.4
(対売上高比率)	26.8%	24.2 %	▲2.6 pt
営業外損益	2.2	7.0	4.8
経常利益	298.6	270.0	▲28.6
特別損益	▲12.5	0.0	12.5
税引前当期純利益	286.1	270.0	▲16.1
法人税等	98.8	95.0	▲3.8
当期純利益	187.2	175.0	▲12.2
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt



参考資料



參考資料
2010年度第2四半期
連結累計期間業績概要



ライセンス契約に基づく 一時金収入を控除した実績比較

一時金収入を除く実績

(単位:億円)	2009年度 第2四半期 実績	2010年度 第2四半期 実績	対前年同期 増減率
一時金収入を除く 売上高	535.6	536.4	0.2%
売上原価 (対売上高比率)	177.6 33.2%	174.3 32.5%	▲1.9% ▲0.7pt
営業利益 (対売上高比率)	134.8 25.2%	138.4 25.8%	2.7% +0.6pt



セグメント別売上高

(単位:億円)	2010年度 第2四半期 実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率	売上高	対前年同期 増減率
医薬品事業	452.3	▲ 0.7 %	77.2	▲ 39.9 %	529.6	▲ 9.3 %
医療用医薬品	427.3	▲ 0.1 %	77.2	▲ 39.9 %	504.5	▲ 9.2 %
眼科薬	374.2	0.3 %	74.6	4.0 %	448.8	0.9 %
抗リウマチ薬	49.8	▲ 1.0 %	0.5	▲ 0.6 %	50.4	▲ 1.0 %
その他医薬品	3.2	▲ 24.0 %	2.0	▲ 96.4 %	5.2	▲ 91.3 %
一般用医薬品	25.0	▲ 9.9 %	0.0	▲ 65.5 %	25.0	▲ 10.2 %
その他	6.7	52.2 %	2.7	▲ 5.3 %	9.5	29.7 %
医療機器	6.7	54.1 %	2.7	▲ 5.3 %	9.4	30.6 %
その他	0.0	▲ 38.8 %	—	—	0.0	▲ 38.8 %
合計	459.1	▲ 0.1 %	79.9	▲ 39.1 %	539.1	▲ 8.8 %



海外売上高

(単位:億円)	2009年度 第2四半期 実績	2010年度 第2四半期		
		実績	増減額	対前年同期 増減率
欧州	40.8	40.7	▲0.1	▲0.3 %
北米	59.9	6.2	▲53.7	▲89.6 %
アジア	30.6	33.0	2.3	7.8 %
その他	0.0	0.0	0.0	—
合計	131.4	79.9	▲51.4	▲39.1 %

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2010年度 第2四半期 累計実績
現金等期首残高	643.4
現金等 増減額	▲ 35.3
営業活動によるキャッシュ・フロー	62.9
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 57.6
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 35.9
現金等に係る換算差額	▲ 4.6
現金等期末残高	608.1

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2009年度 第2四半期 連結累計期間 実績	2010年度 第2四半期 連結累計期間	
		実績	増減額
設備投資額	3.7	4.9	1.2
減価償却費	15.8	13.7	▲2.0
リース料	3.3	1.2	▲2.0



参考資料
2010年度通期連結業績予想



2010年度通期予想 セグメント別予想売上高

(単位:億円)	2010年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	対前期 増減率	売上高	対前期 増減率	売上高	対前期 増減率
医薬品事業	887.5	0.2 %	169.3	▲17.2 %	1,056.9	▲3.1 %
医療用医薬品	834.0	0.0 %	169.2	▲17.2 %	1,003.3	▲3.3 %
眼科薬	725.9	▲0.1 %	161.9	14.1 %	887.9	2.2 %
抗リウマチ薬	96.3	▲1.4 %	1.2	▲7.1 %	97.6	▲1.5 %
その他医薬品	11.6	25.3 %	6.0	▲90.1 %	17.7	▲74.8 %
一般用医薬品	53.6	2.4 %	0.0	▲55.8 %	53.6	2.2 %
その他	19.9	103.4 %	8.1	45.5 %	28.0	82.4 %
医療機器	19.5	102.6 %	8.1	45.5 %	27.6	81.7 %
その他	0.4	150.6 %	—	—	0.4	150.6 %
合計	907.5	1.3 %	177.4	▲15.5 %	1,085.0	▲1.9 %



2010年度通期予想 海外売上高

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度		
		予想	対前期 増減額	対前期 増減率
欧州	87.1	93.2	6.0	7.0%
北米	67.1	16.0	▲51.1	▲76.2%
アジア	55.7	68.1	12.3	22.2%
その他	0.0	0.1	0.1	177.3%
合計	210.0	177.4	▲32.6	▲15.5%



参考資料

国内医療用眼科薬市場概況

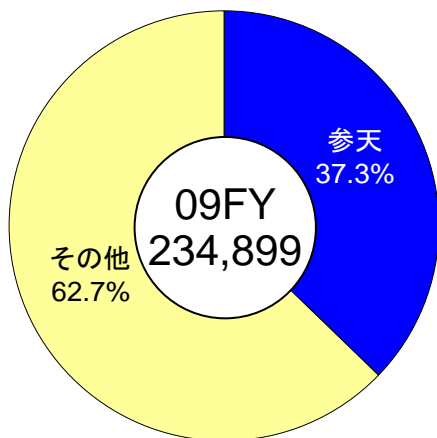


国内医療用医薬品：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科計：10FY2Q累計の市場規模は対前年+2.1%。網膜領域急成長の中、参天はシェア37.0%確保。
- ・緑内障：参天はタプロスとコソプト(6月上市)が寄与し、市場のペースを上回る伸長。シェアは24.8%。
- ・角膜：市場は対前年-2.0%と微減。参天の市場シェアは75.1%。

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

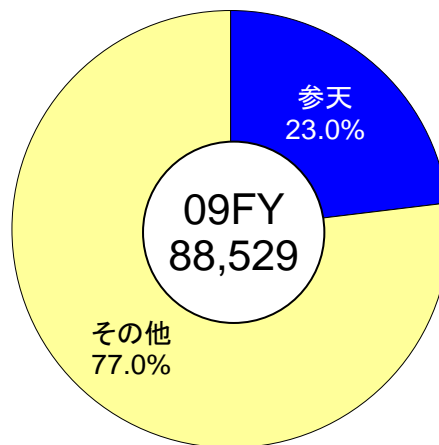
眼科薬計



09FY 10FY2Q累計

(金額) 前年比	市場	+3.5%	+2.1%
	参天	+1.7%	-1.5%
参天シェア		37.3%	37.0%

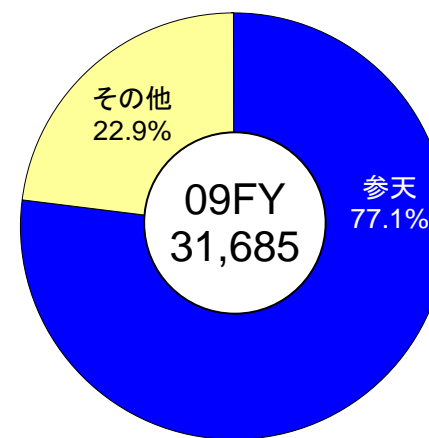
抗緑内障剤



09FY 10FY2Q累計

市場	+4.1%	+3.1%
参天	+18.4%	+11.6%
参天シェア	23.0%	24.8%

角膜疾患治療剤



09FY 10FY2Q累計

市場	+3.9%	-2.0%
参天	+3.0%	-4.9%
参天シェア	77.1%	75.1%

- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤: タプロス、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール、コソプト
- ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン

出典: ©2010 IMS Japan
IMS-JPM 2008-10を基に参天分析
無断転載禁止

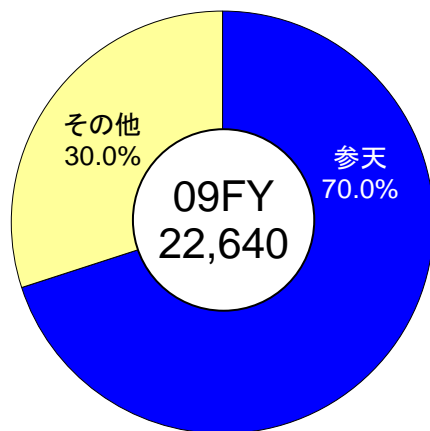


国内医療用医薬品：市場概況（抗菌・アレルギー）

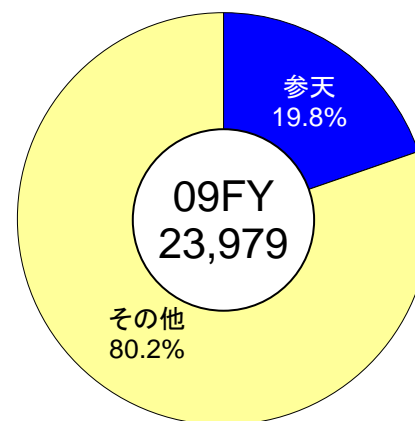
- ・抗菌：10FY2Q累計の市場規模は対前年-0.9%と微減。患者一人あたりの平均処方期間が短縮傾向。
- ・抗アレルギー：参天は市場の成長ペースを下回っている。競合品の伸長傾向が続く。

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

抗菌点眼剤



抗アレルギー剤



		09FY	10FY2Q累計
前年比 (金額)	市場	-4.4%	-0.9%
	参天	-5.6%	-2.9%
参天シェア		70.0%	68.7%

		09FY	10FY2Q累計
市場		-15.0%	-5.8%
参天		-19.7%	-19.4%
参天シェア		19.8%	18.7%

- 主な参天製品:
- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
 - ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレキサール



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。



2010年度 第2四半期

新製品開発の現状

2010年11月4日

取締役 常務執行役員 研究開発本部長

西畑 利明



主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字部分: 10FY1Q発表時からの変更点)

グローバル品

日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認
緑内障	DE-111 タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩 配合剤		中国	DE-085 タフルプロスト	(上市) 日本・香港・韓国 欧州・ラテンアメリカ
		DE-090 ロメリジン塩酸塩			
角膜疾患		DE-101 リボグリタゾン 米国 日本	中国	DE-089 ジクアホソルナトリウム	(承認) 日本
		DE-105 ペプチド組合せ剤			
		DE-110 SEGRA			
網膜疾患		DE-109 シロリムス			
		DE-102 ステロイドDDS			
その他 眼感染症 リウマチ		DE-098 抗APO-1抗体		DE-108 レボフロキサシン (高濃度)	

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085 緑内障・高眼圧症

販売名：日本「タプロス」、他の参天地域「TAFLOTAN」、米メルク社*「SAFLUTAN」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	上市	上市	一般名： タフルプロスト 【上市開始】 日本：2008年12月 欧州：2008年6月 アジア：2010年3月 ラテンアメリカ：2010年8月 【導出】 米メルク社： 2009年4月
欧州**	上市23カ国／承認28カ国 米メルク社*に一部導出	上市16カ国／承認27カ国 米メルク社*に一部導出	
アジア	上市2カ国／承認3カ国 中国：P3	上市／承認2カ国 中国：P3	
米国他	米メルク社*に導出 上市／承認4カ国(ラテンアメリカ)	米メルク社*に導出	

【上市国】**世界合計：30カ国** (今回11カ国追加：下線)

- ・参天：日本、アジア2カ国(香港、韓国)、欧州16カ国(ドイツ、フィンランド他12カ国、スロバキア、リトアニア、アルメニア、キルギス)
- ・米メルク社*：欧州7カ国(イギリス、スペイン、オランダ、イタリア、ポルトガル、オーストリア、スイス)、ラテンアメリカ4カ国(バハマ他)

【承認国】**世界合計：36カ国** (今回6カ国追加：カザフスタン、シンガポール、ラテンアメリカ4カ国)

*米メルク社への販売権導出(2009年4月)：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ

**CIS諸国を含む

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	製造販売承認 取得	製造販売承認 取得	一般名： ジクアホソルナトリウム
アジア	中国:P3	中国:P3	

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	P1 (PK*試験)	—	一般名： タフルプロスト／チモ ロールマレイン酸塩 (配合剤)
欧州	P3準備中	—	

*PK試験：薬物動態(Pharmacokinetics)試験。生体内に投与された薬物の体内動態を明らかにする試験



主要臨床プロジェクトの現状 – 角膜疾患 –

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
米国	P1/2*	P1/2*	一般名:リボグリタゾン
日本	P2b	P2b	

*高用量製剤を追加したパイロットP2b試験

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
米国	P2準備中	P2準備中	ペプチド組合せ剤
日本	P2	P2	

■DE-110 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
米国	P2	P2準備中	選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)

主要臨床プロジェクトの現状 —網膜疾患—

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	P1/2	P1/2	ステロイドDDS

■DE-109* 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	P1/2	P1/2	一般名:シロリムス

*2010年6月、全世界でのシロリムス眼科用剤の開発・製造・販売権を取得。

主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	製造販売承認 審査中	製造販売承認 審査中	一般名: レボフロキサシン (1.5%)

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(8/3発表時)	
日本	P1/2	P1/2	抗APO-1抗体
欧州	P1/2	P1/2	



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。